

虐待ゼロへ

いのちに
ハグを。

とちぎ

section 20

企画・制作 下野新聞社営業局
企画監修 栃木県
栃木県警察本部

10月に作新学院大学清原ホールにて「第14回子ども虐待をなくそう!県民のつどい」と「第14回甘えと間主観性研究会 全国学術集会とちぎ大会」が開催されました。専門家からボランティアに至るまで医療・保健・福祉の垣根を超え出席し、お互いに理解を深め合いました。今回、講演を行なった医学博士澤田敬先生の講話をまとめました。

心の響き合い子育て

間主観性が「心の安定」

生まれて数か月の赤ちゃんは母親の胸に抱かれながら母親の表情やしぐさから感情を推測するといえます。母親もまた赤ちゃんの表情や泣き声でその意図や気持ちを読み取ることでしよう。この言語に頼らない「コミュニケーション」こそが「間主観性＝心の響き合い」です。この「心の響き合い」を通して、母親は子どもへの愛おしさを募らせ「育てる力」を養い、赤ちゃんも「愛されている」という基本的な信頼感を育み「心の安定」に繋がっていきます。この親子の関係をしっかりと育むことができたなら虐待をしない親を育てていけることでしよう。

「心の響き合い」は赤ちゃん



『「心の響き合い子育て」～あまえる子どもから学ぶこと～』を演題に講演をする澤田先生

信頼築きトラウマ克服

妊娠と同時に「もしお腹の子が女の子だったら、殺してしまうかもしれない」。そう悩む母親がいました。保健師は驚きと不安を抱えながらも医師やセンターと連携しつつ彼女の心に寄り添い続けました。妊娠周期が進み胎児が女兒とわかり母親の混乱がますます激しくなる中でも非難や説教をするのではなく、常に真摯に耳を傾け信頼を積み重ねました。そして、アルコール依存症の母親からの暴力、厳格な祖母の冷徹さ、厳しい姉、そして非行に走った自分自身など、彼女の辛い生い立ちを聞くことが出来ました。トラウマとなった家族や自身の姿を生まれてくる子に重ね「この子は生まれてきても必ず不幸になる」と思い込み混乱し殺意まで生じていたことがわかりました。我が子の将来を案じる想いが強いゆえの混乱でした。医師がそれを解明できたのも保健師が母親と「心が響き合う」関係性

はありません。「子育て支援」の場でも子育てに不安やストレスを抱える親のSOSをどうキャッチし、支えていくかということが重要です。幼い頃に虐待を受けた、甘えられないまま育つたなど辛い経験をして大人になり親になった時、我が子への接し方がわからず混乱してしまう相談者も少なくありません。

虐待

と

同時に

「もしお腹の子が女の子だったら、殺してしまうかもしれない」。

そう悩む母親がいました。保健師は驚きと不安を抱えながらも医師やセンターと連携しつつ彼女の心に寄り添い続けました。

妊娠周期が進み胎児が女兒とわかり母親の混乱がますます激しくなる中でも非難や説教をするのではなく、常に真摯に耳を傾け信頼を積み重ねました。

そして、アルコール依存症の母親からの暴力、厳格な祖母の冷徹さ、厳しい姉、そして非行に走った自分自身など、彼女の辛い生い立ちを聞くことが出来ました。

トラウマとなった家族や自身の姿を生まれてくる子に重ね「この子は生まれてきても必ず不幸になる」と思い込み混乱し殺意まで生じていたことがわかりました。

我が子の将来を案じる想いが強いゆえの混乱でした。医師がそれを解明できたのも保健師が母親と「心が響き合う」関係性

はありません。「子育て支援」の場でも子育てに不安やストレスを抱える親のSOSをどうキャッチし、支えていくかということが重要です。

幼い頃に虐待を受けた、甘えられないまま育つたなど辛い経験をして大人になり親になった時、我が子への接し方がわからず混乱してしまう相談者も少なくありません。

虐待

と

同時に

「もしお腹の子が女の子だったら、殺してしまうかもしれない」。

そう悩む母親がいました。保健師は驚きと不安を抱えながらも医師やセンターと連携しつつ彼女の心に寄り添い続けました。

妊娠周期が進み胎児が女兒とわかり母親の混乱がますます激しくなる中でも非難や説教をするのではなく、常に真摯に耳を傾け信頼を積み重ねました。

そして、アルコール依存症の母親からの暴力、厳格な祖母の冷徹さ、厳しい姉、そして非行に走った自分自身など、彼女の辛い生い立ちを聞くことが出来ました。

トラウマとなった家族や自身の姿を生まれてくる子に重ね「この子は生まれてきても必ず不幸になる」と思い込み混乱し殺意まで生じていたことがわかりました。

我が子の将来を案じる想いが強いゆえの混乱でした。医師がそれを解明できたのも保健師が母親と「心が響き合う」関係性

はありません。「子育て支援」の場でも子育てに不安やストレスを抱える親のSOSをどうキャッチし、支えていくかということが重要です。

幼い頃に虐待を受けた、甘えられないまま育つたなど辛い経験をして大人になり親になった時、我が子への接し方がわからず混乱してしまう相談者も少なくありません。

虐待

と

同時に

「もしお腹の子が女の子だったら、殺してしまうかもしれない」。

そう悩む母親がいました。保健師は驚きと不安を抱えながらも医師やセンターと連携しつつ彼女の心に寄り添い続けました。

妊娠周期が進み胎児が女兒とわかり母親の混乱がますます激しくなる中でも非難や説教をするのではなく、常に真摯に耳を傾け信頼を積み重ねました。

そして、アルコール依存症の母親からの暴力、厳格な祖母の冷徹さ、厳しい姉、そして非行に走った自分自身など、彼女の辛い生い立ちを聞くことが出来ました。

トラウマとなった家族や自身の姿を生まれてくる子に重ね「この子は生まれてきても必ず不幸になる」と思い込み混乱し殺意まで生じていたことがわかりました。

我が子の将来を案じる想いが強いゆえの混乱でした。医師がそれを解明できたのも保健師が母親と「心が響き合う」関係性

はありません。「子育て支援」の場でも子育てに不安やストレスを抱える親のSOSをどうキャッチし、支えていくかということが重要です。

幼い頃に虐待を受けた、甘えられないまま育つたなど辛い経験をして大人になり親になった時、我が子への接し方がわからず混乱してしまう相談者も少なくありません。

虐待

と

このように支援の原点にも「心の響き合い」があります。混乱した母親を共感的対応で温かく包み込み、誠意をもって耳を傾け続けることで強い信頼関係が育まれます。その中で初めて母親は自らの辛い過去を顧みることができ、話すことで自身の心の整理をし、落ち着きを取り戻すことができただけです。

皆さん、現場でも実にごまな問題が発生していることとでしよう。皆さんの日頃の活動の中で、支援を必要とする人との信頼関係の構築が「心の響き合い」をもたらし虐待のない世界につながると信じて今後も取り組んでいきましょう。

虐待ない世界につなぐ

を築いてきたからでしよう。自分の混乱が我が子への愛情ゆえに生じたものと分かった母親は、どれだけホッとしたこととでしよう。以後、積極的に出産準備に取り組み、誕生した我が子へ愛情を惜しみなく注いでいったそうです。

高知県カンガルーの会

小児科医
さわ だ けい
澤田 敬 さん

高知県生まれ。長崎大学医学部卒業。高知県立西南病院小児科医科部長。高知県立中央児童相談所医務主任。NPO法人「カンガルーの会」理事長。医学博士。2018年高知県の小児医療の向上、子どもの甘え、子ども虐待の研究において厚生労働大臣賞を受賞

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください

無料 ※一部のIP電話からはつながりません

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

いっしょに
189

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

FUTABA フタバ食品

トヨタ自動車

トヨタカラー栃木

しんほうけんせつ 晋豊建設 株式会社

KSK環境整備

創業明治十五年 宮島醤油株式会社

明光義塾

SEKISUI HOUSE 積水ハウス株式会社

pal system
生協 パルシステム茨城 栃木

co-op
とちぎ"コープ" 生活協同組合

NTT docomo
株式会社ドコモCS

一般社団法人 栃木県医師会

獨協医科大学病院
Dokkyo Medical University Hospital

人形会館 鈴為
est. 1893 http://www.zusume.com

まなびの森 保育園

あずま 保育園

駅ひがし 保育園

あさひの 保育園

ひので 保育園

学校法人やまざき学園 認定こども園 釜井台幼稚園、
認定こども園 西那須野幼稚園、みふみ認定こども園、
学校法人大恵会 うつのみやこども園石川幼稚園・
認定うつのみやこども園東うつのみや保育園、
学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園、
学校法人愛泉学園 吉田保育園／西那須野ロータリークラブ〈順不同〉

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスタリングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団ツ!、
NPO法人レインボー 代表理事 宮田里枝、
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、
とちぎ男女共同さんかくねっと 理事長 大澤里香 〈順不同・敬称略〉

企画監修

栃木県

TOCHIGI POLICE
栃木県警察